

教科名	公民	科目名	倫理
対象	登校・オンライン	年次	3
添削指導(回)	6	面接指導 (単位時間)	2
単位数	2	備考	
教科書・補助教材等	倫理(東京書籍) 教科書授業インターネット講座		
学習の目的	哲学に触れ、社会で生きるために必要な正しい判断、正しい行動について理解を深め、人間として正しいあり方、生き方を旨とする。		
レポート	学習内容	学習のねらい・目標	
1	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 1章 人間の心のあり方 2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観 I 1節 哲学すること 2節 ギリシャの思想	人間とは何か、人間の心の働きについて正しく理解する。古代ギリシャ思想について理解し、活用する。	
2	3節 宗教と社会 4節 キリスト教 5節 イスラーム 6節 仏教 7節 中国の思想 8節 芸術	宗教とは何か、宗教がどのように生まれ、社会に影響を与えたかについて正しく理解する。芸術について理解し、活用する。	
3	3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観 II 1節 近代と人間尊重の精神 2節 近代思想の展開 3節 人格の尊厳と人倫の思想 4節 社会変革の思想 5節 理性への疑念	近代の人間尊重の精神がどのように生まれ社会に影響を与えたかについて正しく理解する。社会変革の思想、理性への疑念について理解し、活用する。	
4	6節 人間観・言語観の問いなおし 7節 他者・自然とのかかわり 4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 1節 日本人の精神風土	人間観・言語観の問い直し、他者・自然とのかかわり、日本人の精神風土について理解し、判断する。	
5	2節 仏教と日本人の思想形成 3節 儒教と日本人の思想形成 4節 国学の思想 5節 庶民の思想 6節 西洋思想と日本人の近代化	仏教と日本人の思想形成、儒教と日本人の思想形成、国学の思想、庶民の思想、西洋思想と日本人の近代化について理解し、判断することができる。	

6	7節 国際社会に生きる日本人の自覚 第2編 現代の諸課題と倫理	国際社会に生きる日本人の自覚、生命、自然、科学技術、福祉、文化と宗教、戦争と平和について理解し、判断することができる。
---	------------------------------------	---

学習上の留意点	与えられた課題について自ら調べ、自ら考える能力を身に付けられるよう、生徒が主体的に考える時間を設ける。また、時事問題等の現代社会に関する様々な課題について、日常生活と密着させて考察させる。	
評価の観点		評価方法
主体的に学習に取り組む態度	哲学や先人の思想に対して関心を高め、意欲的に追及しているか。	レポートの評価と定期考査の出題範囲における習得の状況の評価し、総合的に評価する。
思考・判断・表現	哲学や先人の思想を現代社会での諸問題に繋げ、課題を見出し多角的な視点から考察しているか。	
知識・技能	課題についての考察や判断の過程や結果を、様々な方法で適切に表現できているか。 基本的な課題について理解し、その知識を身に付けられているか。	

RITA 学園高等学校